爲水春水綴

新播補

九編

三國志

へ13
3086
5

特
へ13
3086
5

新增補西國奇談九篇上之巻

版權本

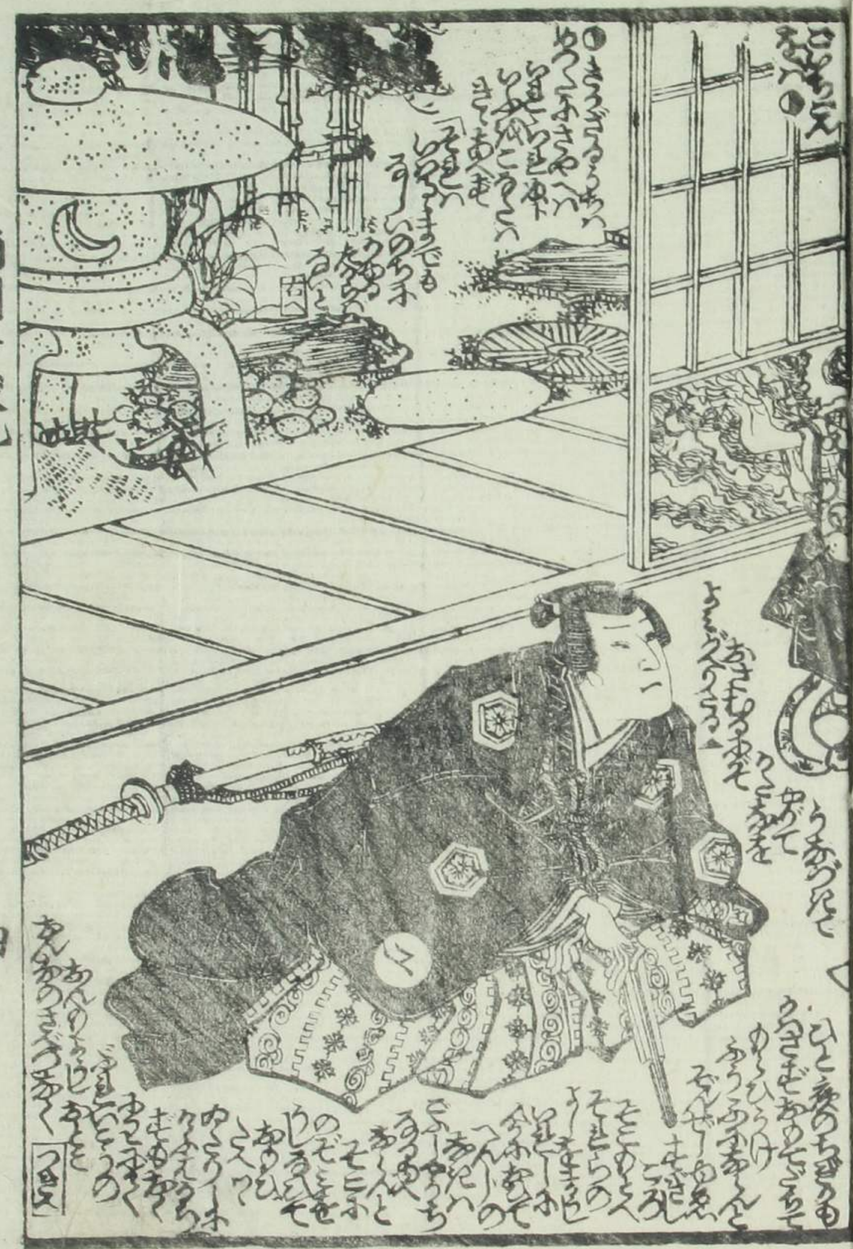
曲まるものハ直き物損ひ。邪あるものハ正しきを害そ。その曲まる物曲まると知り。直き物直きと知る支ハ明君賢主も最巨うり。況て庸人ハおろかをや。既ハ這編平処ハおろかなる。宗重ガ驕奢ハ募り。嬖妾阿竜ガ邪曲の一段そガ襯染を倣んとて。那二面次ガ倹佞あり。赴を志も説出まふ。猪上僅ハ二十員。憶ひ物舒んとまるうらハ。只徒ハ編数嵩そ。所謂下手の長談義。我面白の人異し。所為ハ似られど復来稔の。春の仕込物今歳うら。編も久き

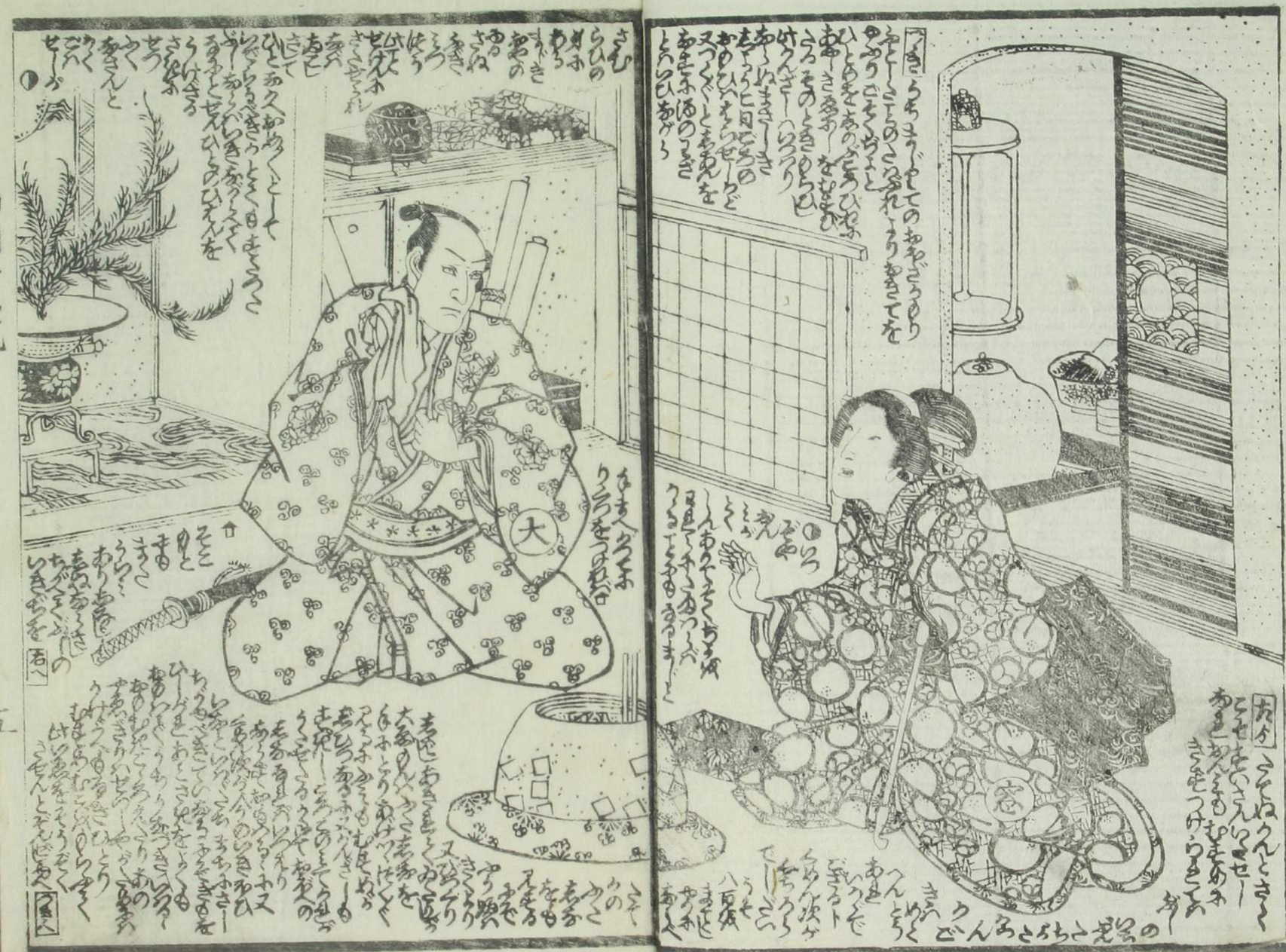
たゞ支。鬼ガ听ハ腹をや抱えん

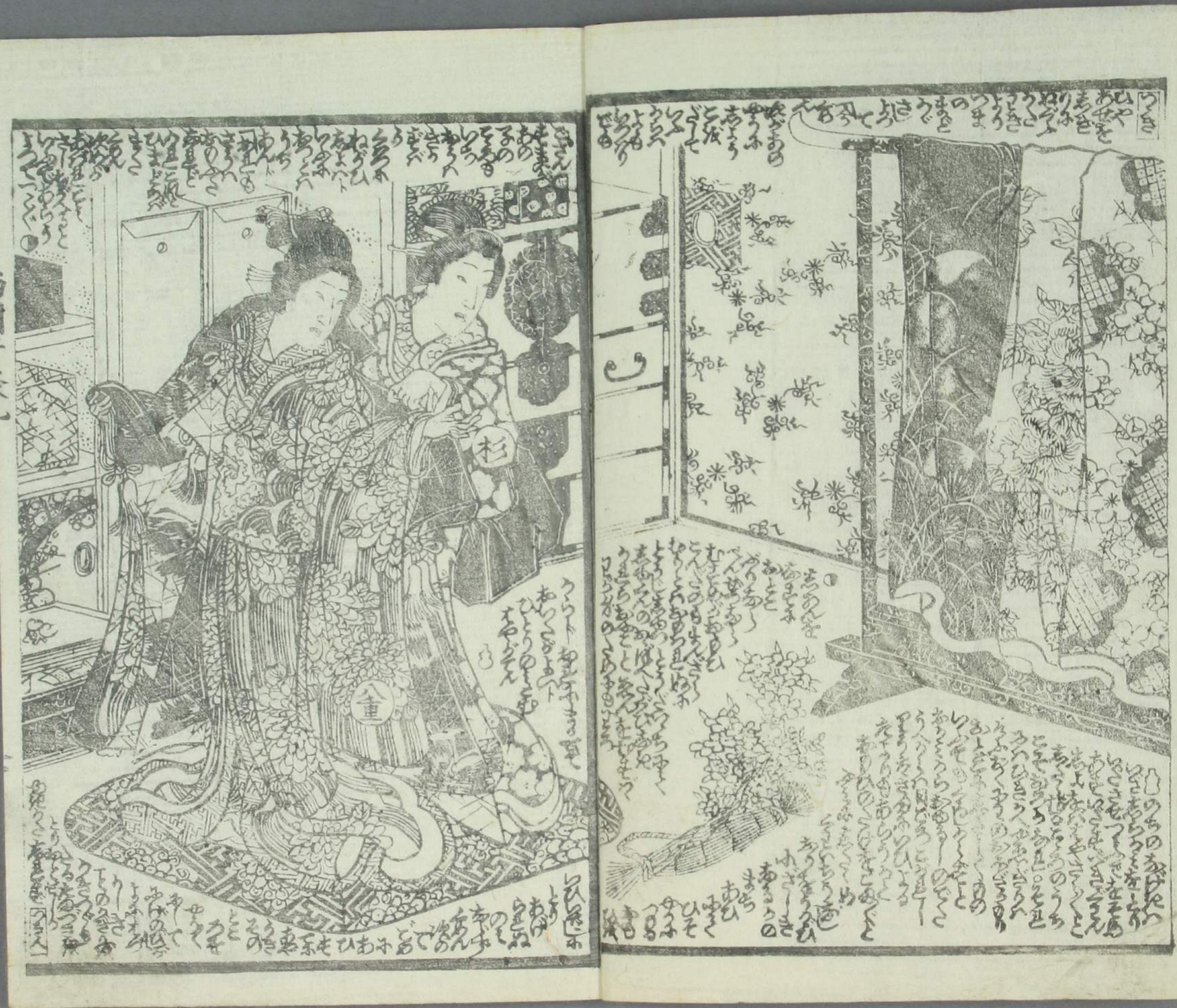
已未晩春藁成
庚申初春畿市

爲永春水記

西国奇談九
阿竜
宗重
西国奇談九







杉
童

西國奇談

春水補綴

國貞画

根源實紫新小説概畧

作者 柳亭種彦

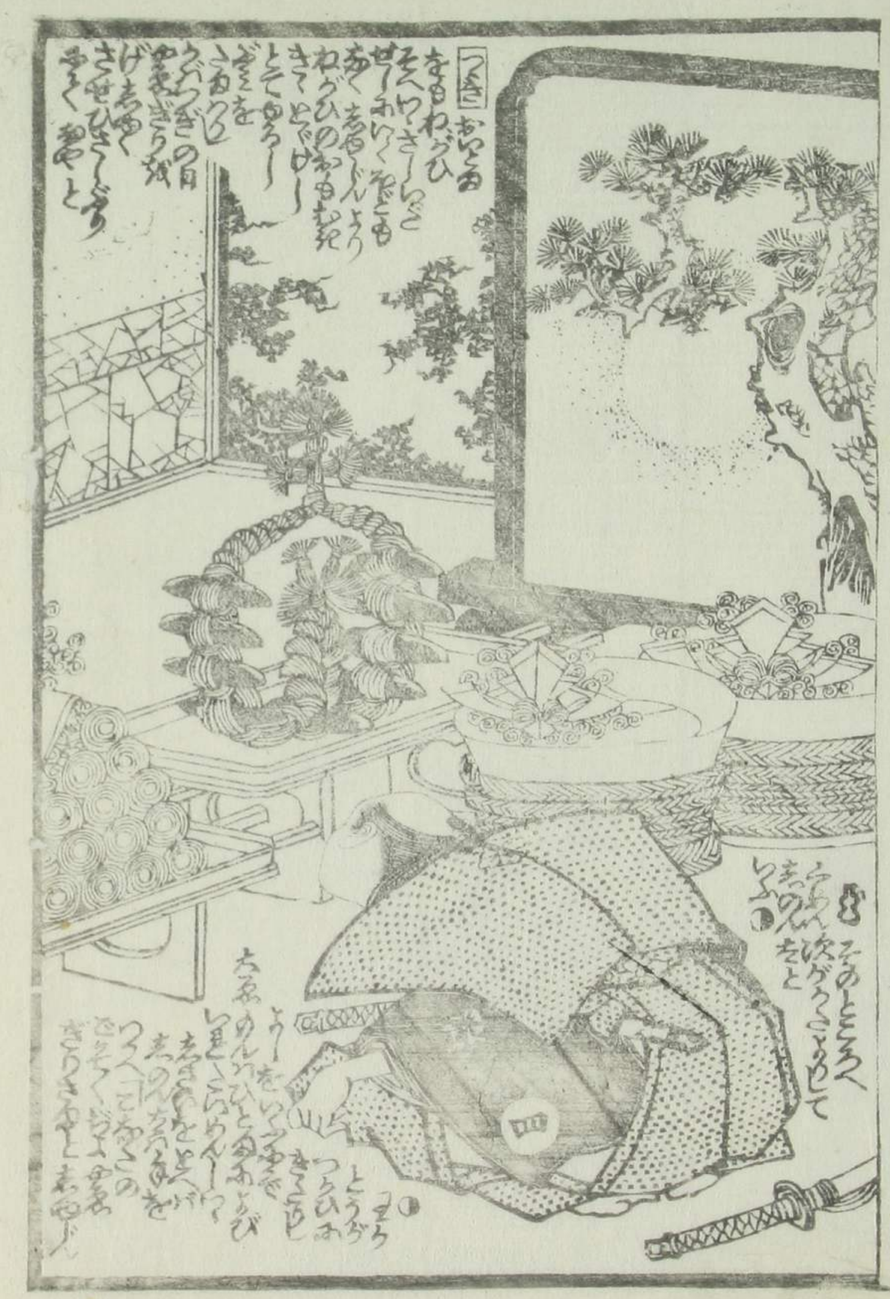
十編は工面次の所計と叫ぶ心重桐及ふ伏さんとなると雨杉ゞ忠義の
りのくろう工面次只管婚を促し一又〻方便の裏とめくれ噌ふ醜婦を
娶るの一段話説かつ〻河童くしめて残毒をさ一含むの一帯十編は
か竜ゞ浴室ゆ〻虚井の守袋とつるくろうその刃て讐を支とゝ知と
反目苦労の計ゆ〻かの秋風を敷くの一段譚て最ゆ〻ゆ〻殺生石の
十二編は秋風虚井毒手ふひのうて終ふ非命ふ死るより殺生石の
一奇談つゆく龍太郎の偽ふひのうて終ふ非命ふ死るより殺生石の
とも説くゆつゆれ通ゆく当年の内ふ出板ゆるべし

十三編は惟規の北海の危難鳴高他を謀て自かつ天の網船拔手兒釣出す花園
の遊宴ふ式部ゞ面賛ハ呪詛の種村心の火性ふ浮氣の水性一者ゆ如術ゆ醜婦忽ち
美人と化る十四編は鮮の食嗜ふつ足水の即吟ふれも八幡の宇佐宮孝ゆ宰府のかり寝
夢のゆうゆ幻の譚ふ始り現のゆうゆ夢中の奇遇の半ゆて十五編心筑紫の夢覚て故の
信ふ涙と灌く神の淺ゝ管絃講香炉丸郎ふ死て宝笛ふかつり歓わゝ又悲〻式部ゆ兎の談る始る

爲永春水補綴
梅蝶樓國貞画
下

西國奇談九編
下冊 春水英國
真重書 [illegible]

西国古語大全



萬延二酉年新鐫目録

根源實紫　十四編　十五編　十六編　柳亭種彦作　一壽齋國貞画
娘庭訓金鵄　五編　大尾　同　作　同　画
總次郎琴聲美人錄　十七編　十八編　十九編　山東京山作　歌川國貞画
花兄弟陸奥名所　初編　二編　柳亭種彦作　同　画
新增補西國奇談　十一編　十二編　十三編　爲永春水作　歌川國貞画

地本繪草紙團扇問屋　芝神明前　三島町　佐野屋喜兵衛板

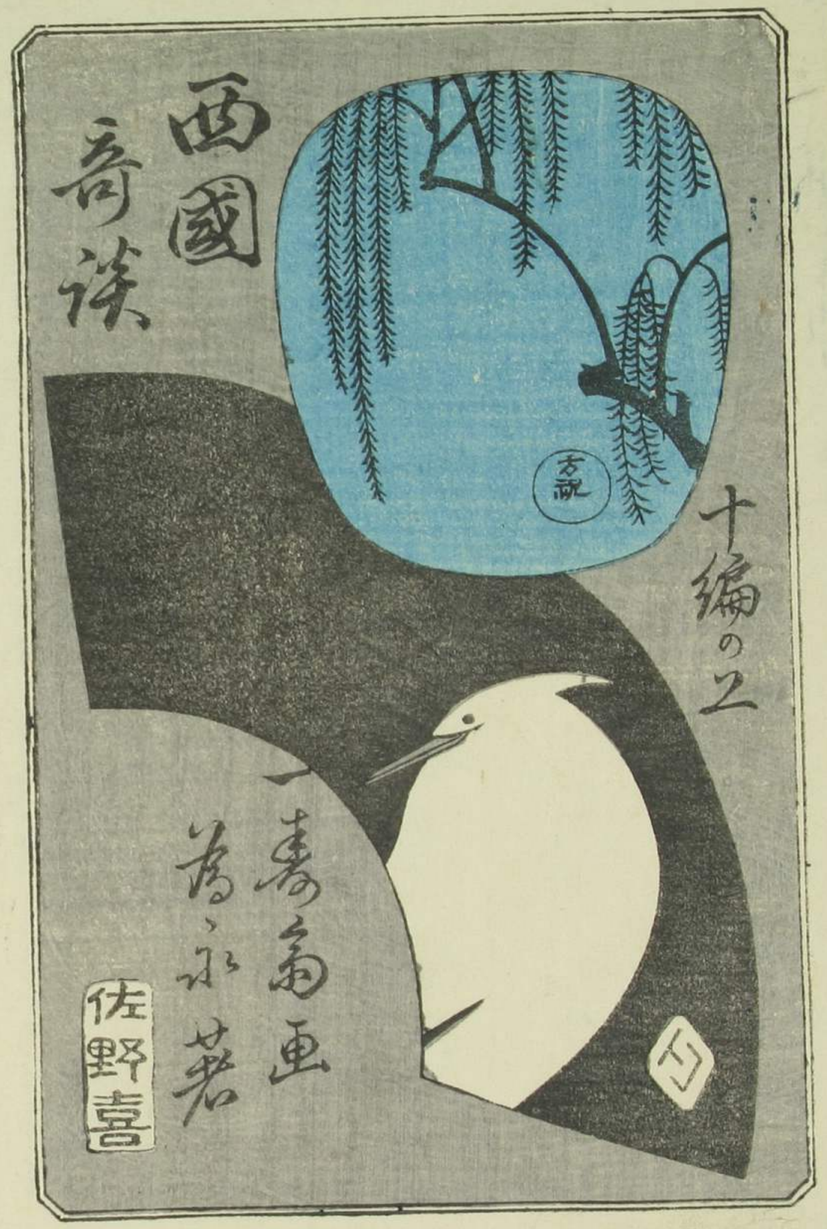
西國奇談十編

爲永春水著

外題 曲亭馬琴

上

喜雀堂板



夜も明けて事成はくらうの名ふ似く
軒端ゝ青のやうけんの巾　山陽

徳く短冊ふ書るせ一枚去る友人より贈らるゝ這へよ元僕が
警めあり、と常ふ座右の屏風ふ張く年許多うち詠むまで。
夜延の油盞る頃ふ翌ふ至ふ敏起て。と思ひて寐ざる宵ハ
ちゝゝど枕ハ減のよ化まふ蒼の餌ふ集り鳴くも。
隣家ふ朝餉の跡洗ふ音も現心ふ听ぶ化ハ早晩も朝顔の
盛り化知らむ分化けうと化物申の声ふ脳うち潰まて起
出ふ化ハ喜鶴堂の使来りく。偖十編ハ奈何と言つ化まぐ覚
やゝね巳の時の眼をとまりて筆を深ね。

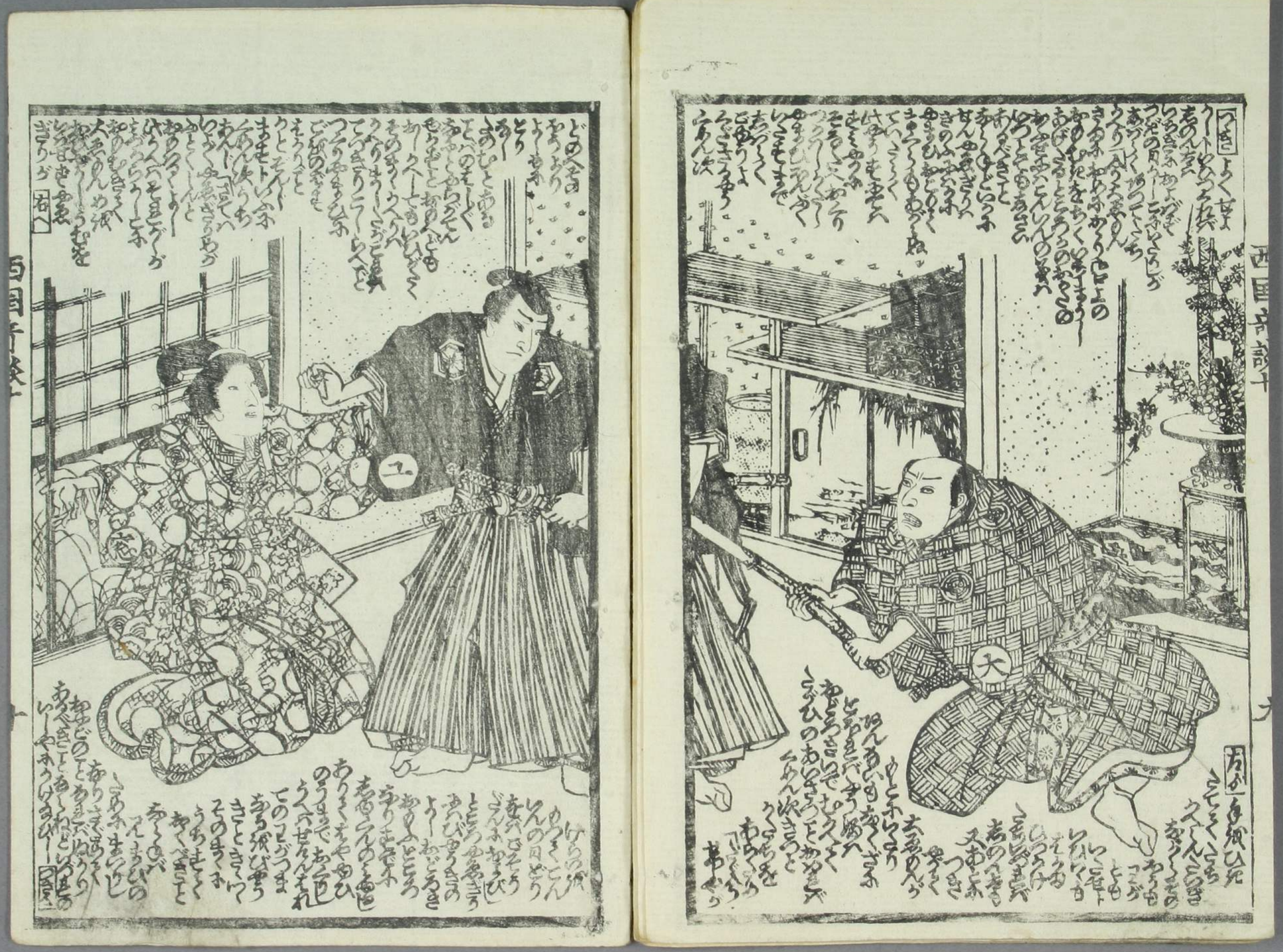
庚申　初春良辰　爲永春水記

妖婦
阿竜
殺生石

西国奇談十

木村
龍太郎

二



西國奇談

春水補綴
國貞画

十編〔工面次〕妹計と呼ばれ八重桐双ふ伏さんとなるを阿杉の忠義のかのうち工面次口管婚と促し冬く方便の裏とかれ暗ふ醜婦を妾るの一段話説かいつく阿竜くめて残毒をさ〜含むの一端〔十一編〕お竜の浴室あく虚井の守袋とるうその刃て讐を支とおもて反目苦労の計あく虚井の秋風を歎くの一段譚て最巧みあり

十二編〕秋風虚井毒手ふたりて終ふ非命ふ死るより殺生石の一奇談つらく龍太郎の仇ふ工面次八重桐らうえ〜

〔十三編〕工面次ふ仇計と呼ばれ八重桐双ふ伏さんとなるを阿杉の忠義のかのうち工面次口管婚と促し冬く方便の裏とかれ暗ふ醜婦を妾るの一段話説かいつく阿竜くめて残毒をさ〜含むの一端〔十一編〕お竜の浴室あく虚井の守袋とるうその刃て讐を支とおもて反目苦労の計あく虚井の秋風を歎くの一段譚て最巧みあり

十二編〕秋風虚井毒手ふたりて終ふ非命ふ死るより殺生石の一奇談つらく龍太郎の仇ふ工面次八重桐らうえ〜

根源實紫新刻概畧

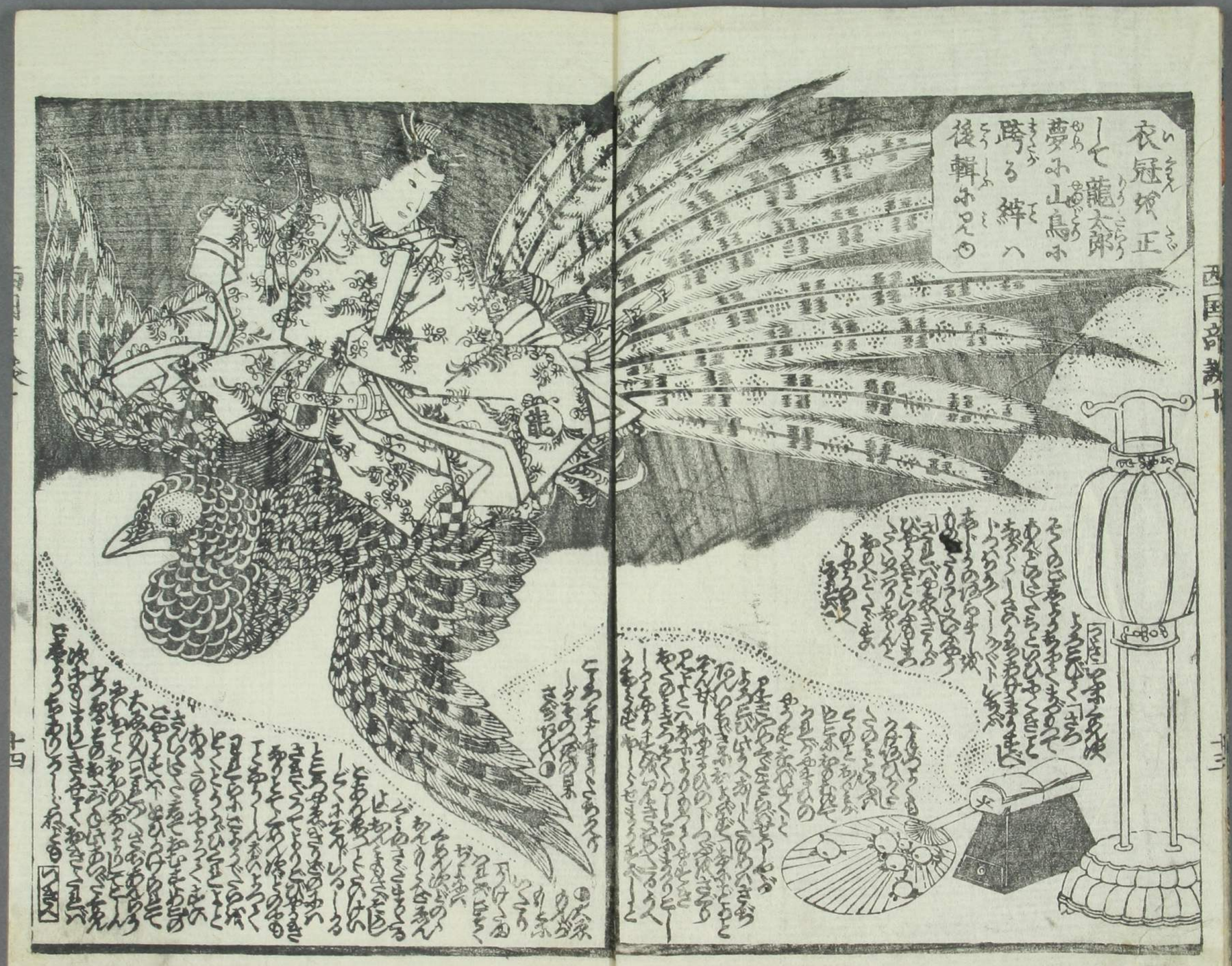
作者 柳亭種彦

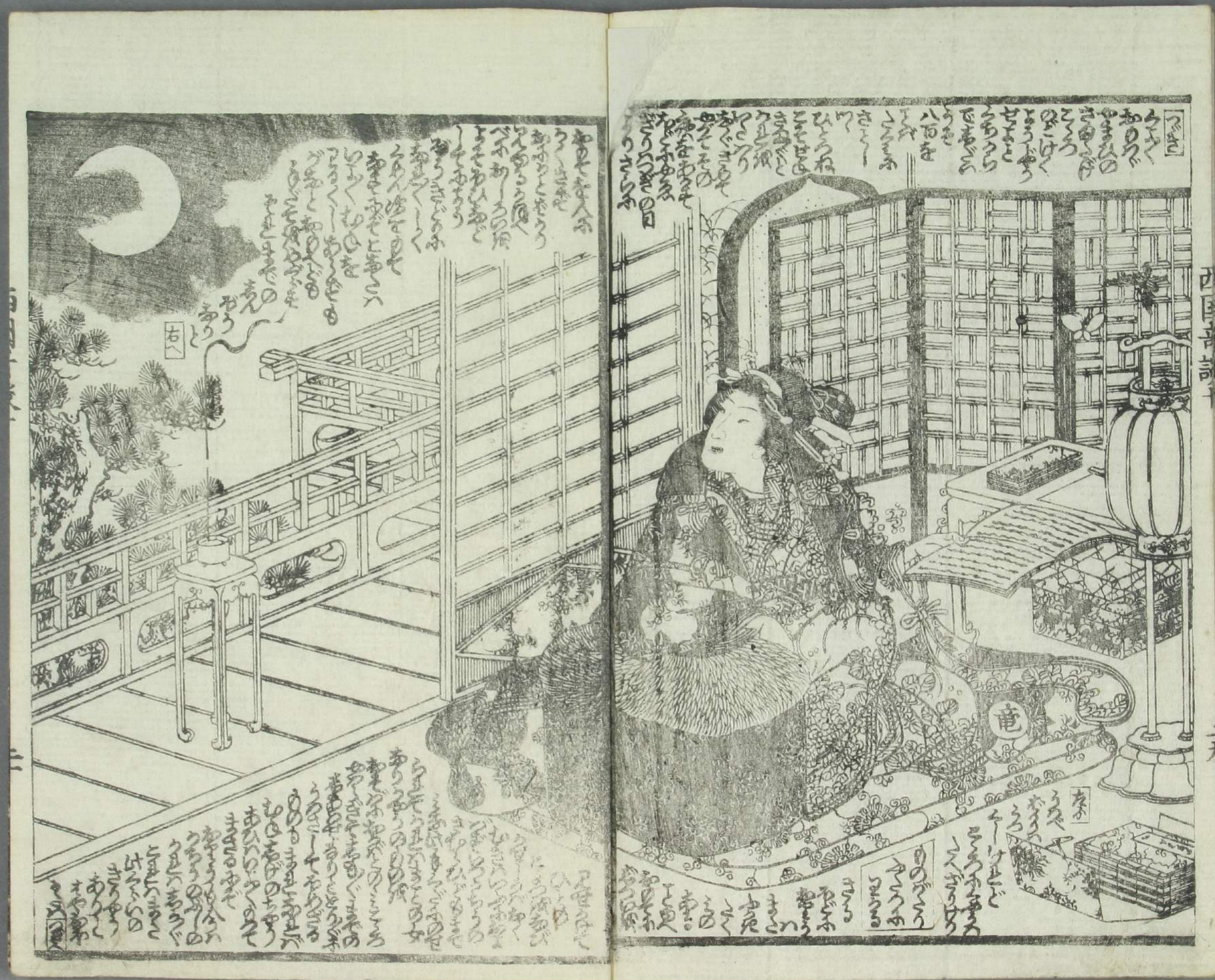
〔十三編〕性規ふ北海の危難鳴高他を謀て自分ふ天の網船拔手兒釣出す花園の遊宴ふ式部ふ面賛八兒詛の種村心の火性ふ浮氣の水性一者ふ処術ふ醜婦忽ち美人と化る〔十四編〕小鮮の食嗜ふ巨水の即吟それ八幡の宇佐原宣孝ふ宰府のかり寐夢のかりふる幻の譚ふ始り現のかりふる夢中の奇遇の半ふて〔十五編〕心筑紫の夢覚て故の信ふ涙て濯ぐ袖の湊ふ管絃講香炉節ふ死て宝蓮本ふかり歓われ又悲て式部ふ究の談ふ結る

梅蝶楼國貞画

新撰補
西國
三

七


衣冠束正して龍太郎夢ゐ山鳥ゐ跨る絆へ後輯ゐ


竜

萬延二酉年新鐫目録

根源實紫 十四編 十五編 十六編 柳亭種彦作 一壽齋國貞画

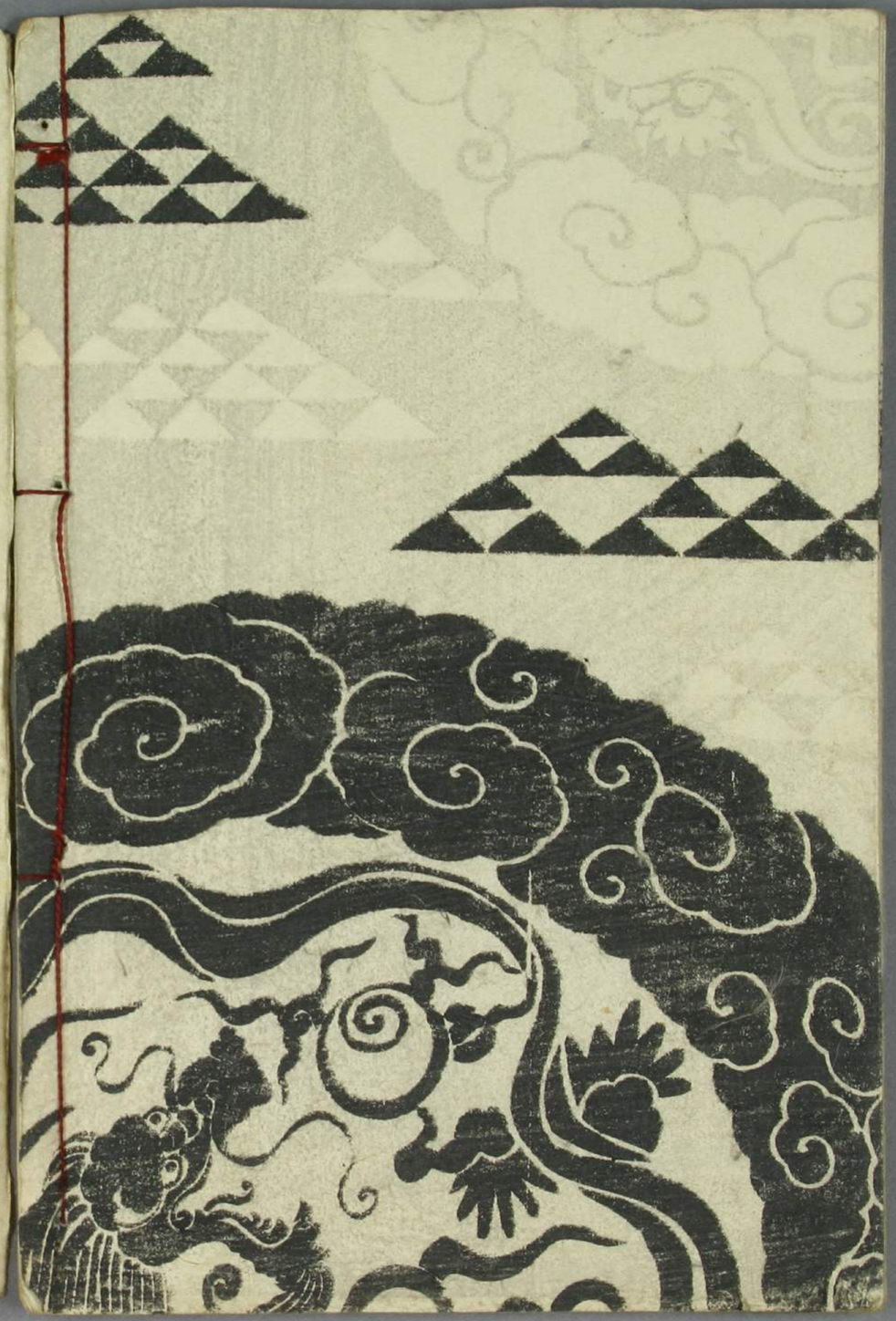
娘庭訓金鶏 五編 大尾 同 同 作 画

總次郎琴聲美人錄 十七編 十八編 十九編 山東京山作 歌川國貞画

花兄舅陸奥名所 初編 二編 柳亭種彦作 同 画

新增補西國奇談 十一編 十二編 十三編 爲永春水作 歌川國貞画

地本繪草紙團扇問屋 芝神明前 三島町 佐野屋喜兵衛板



奇水補綴

新播補

百

さらと

十編全一冊

くだん

國貞畫

佐の屋梓